

第1回中央執行委員会（議事録）

出席状況 ○=参加、×=不参加、▽=早退、△=遅刻

2017.07.29 in 藤田本部

委員長	坂本 ○	副委員長	中畑 ○	三上 ○	上村 ○	原田 ○	内田 ○	書記長	西崎 ○
			高木 ○	山本 ×	小林史 ○	濱 ○		書記次長	長尾 ○
岡山支部	上田 ▽	藤島 ○	吉田 ▽	頭士 ○	柴田 ○	武澤 ×	井上 ○	長谷部 ×	安田 ○
倉敷支部	難波 ○	大橋 ○	黒木 ×	船越 ×	河田 ×				
美作支部	草川 ○	藤澤 ×	菱野 ○	備前支部	神崎 ×	松川 ▽	濱田 ×	アルバイト	坂本淑 ▽
井笠支部	大谷 ×	遠山 ▽	北村 ▽	備北支部	竹内 ○	小林幸 △			
	○= 21	△= 0	▽= 6	×= 9	?= 1		AM 27	PM 22	計 27 /38

【当日スケジュール】

9:30	学習会「労働組合イロハ」90分	13:00	協議事項 120分
11:05	報告事項 70分	15:00	終了
12:15	昼休憩	15:10	部会執行委員会

I 情勢 11:05～20分(その内自己紹介5分含む)

- 7/7 国連において核兵器禁止条約が採択。被爆者の長年の訴えや署名運動が力となり、人類史上初めて核兵器が違法となる。条文に「核による威嚇も違法」という内容が盛り込まれたことが画期的。日本が主張する“核の傘”による平和も違法ということになる。唯一の戦争被爆国である日本は会議にさえ参加せず、立場が問われている。
- 閉会中審査、もりかけ疑惑は一層深まる。首相も答弁を二転三転、詰められるとしどろもどろに。関係大臣も「記憶にない」の一点張りで、“一点の曇りもない決定過程”は何も証明できず。
- 都議選を境に、内閣支持率は急降下、危険水域と言われる 20%台。“安倍一強”の内実は、実は“消極的支持”がほとんどで、国政の私物化、疑惑隠しをはじめ、閣僚の失言、放言などで一気に離反が進む。
- 実態が明らかになれば、世論が動き、政治が動くことの典型。野党統一を含む、市民連合型の運動の重要性と展望がここにある。
- しかし、最大の野望である“憲法改正”については、2/3を擁する今の議席のうちに一気に呵成に突き進みたいと、改憲スケジュールに変更なしと強気の発言相次ぐ。実は強気ではなく、今やらないとできなくなるという焦りの現れ。防衛大臣辞任も（罷免でなく！）政権維持のための目くらましか…。
- 最低賃金の中央答申が出る。岡山を含むCランクは24円 up。今後地方賃金審議会で金額が決定。

II 報告事項 11:25～50分

1. 生協労組おかやまの組織概要 11:25～15分

- 組織図
- 労組規約（議案書参照）

2. この間の活動 11:40～35分

7/8	第28回定期大会	20	労連委託対策会議／第11回県労会議常任幹事会
9	県労組織拡大交流会		
11	CX 労組尾道分会労使懇／県パ臨連	21	第5回生協労連最賃闘争本部／最賃引き上げ中央行動
12	倉敷支部執行委員会		
13	7月度中央安全衛生委員会／地連四役会議	22	第10回中四国地連執行委員会／岡山市社会保障推進協議会総会
14	労連組織拡大推進委員会／市民本位の市政をつくる会	23	中四国地連パート部会幹事会
15	第26回部会総会／労連青年部三役会議	25	7月度DC懇談会
16	国民平和大行進 2017 岡山入り（～26日）	26	平和行進広島引継ぎ／美作支部執行委員会
18	岡山支部執行委員会	28	新分会長研修①
19-20	第500回生協労連中執	29	第1回中央執行委員会

ア) 上部・外部団体 11:40～7分

- 全国生協労働組合連合会(生協労連)
- 生協労連 各専門委員会
- 生協労連 中四国地方連合会
- 全国労働組合総連合(全労連)
- 岡山県労働組合会議(県労会議)
- その他、外部団体

イ) 労理協議会、組織内会議 11:47～5分

- 経営協議会
- 店舗会議
- DC 懇談会
- 中央労働安全衛生委員会
- 宅配協議会
- 宅配協議会のあり方について質疑があり、次回執行委員会までに具体化することを確認した。
- 店舗協議会
- DC 協議会

ウ) 各分会 支部の報告 11:52～23分

- 定時職員部会(パート部会)
- 青年・女性部会: 10月の生協労連青年部会総会@静岡への参加呼びかけを計画中。
- アルバイト部会(準): 7.3 会議。東川原再雇用アルバイト労組加入。10.7 総会予定。
- ミドルエイジの会: 6.24 総会。実出席 17名、委任状 65名(出席率 36.6%)。7.22 平和行進に 8名参加。7.29 第一回幹事会。
- 岡山支部: 7.18 支部執。大会(8.2)の議論。10.1 市長選に向けて支部としてどう取り組むかの議論のために
- 大会で学習会を議論。
- 倉敷支部: 7.12 支部執。大会(8.9)の議論。会計を決める必要がある。
- 美作支部: 7.26 支部執。大会(8.18)の議論。
- 備前支部
- 備北支部: 5.28 ランチ企画。7.24 大会。支部ニュースを重視する方針確認。
- 井笠支部: 8.4 大会予定。
- CS 関係: 労働相談あり。8.2 労使協議会予定。
- 生協関連 一般労働組合: 10.7 定期大会予定。

Ⅲ. 協議事項 13:00～156分(10分休憩含む)

1. 機関運営 13:00～65分

- 年間スケジュール(別紙) 13:00～25分

中執の日程を予定すること。

※成立要件は過半数の出席が必要で、満たなければ再度招集する必要に迫られる。

第29回定期大会の日程変更について協議。

平日二時間の短時間開催となる執行委員会がいくつかあり、議論時間が不十分になるのではないかと懸念が出され有休取得を前提に平日日中開催の提案があった。

基本的には当初提案通りの日程とすること、重要議題がありどうしても必要がある場合には日程変更等を改めて検討することが確認された。

- 各中執の役割分担(別紙) 13:25～15分

基本は、自分の分会を担当する。四役など、力持ちの中執は複数の分会を担当する。

割り振れない分会は書記局(専従)が受け持つが、具体的な専従名はあてがわれない。

基本方針を確認した。

- 支部の財政管理について 13:40～2分

振込手数料や支部財政の便宜上、全て労金口座で随時統一する。現在、労金以外の銀行口座は解約もしくは残高ゼロにし、新しく労金口座を開設する。その際、名義は支部担当の専従名で開設し、通帳の管理は本部で行う。支部はカードを所持し、入出金を行う。

以上の方針を確認した。

- 新役員研修(参加状況は別紙の通り) 13:42～2分

不参加の分会長を優先し、分会長訪問を行う。参加状況の共有をした。

- 9/2(土) 県労会議定期大会代議員の推薦 13:44～3分

8名の代議員の推薦。(内田)(山本)(小林)(長尾)(上村)(藤島)(坂本:午後のみ)(竹内)
以上8名を確認した。

○ 生協労連定期大会 及び 労連パート部会総会 13:47~2分

労連大会:9/14-15(木金)、代議員は中四国地連大会で確認される。おかやまからの選出はないがオブザーバー参加を募る。対象は四役。

労連パート部会総会:9/30-1(土日)代議員は地連部会総会で確認される。おかやまから1名の選出。継続協議とすることを確認した。

○ 日生協健保組合の組織問題について 13:49~16分

健保財政の逼迫化。保険料率の引上げ。既に政府管掌の協会健保の保険料よりも高くなっている。

健保の存続について議論が始まっている。労連は保険料が上がるも“存続”させるべきとの方針。

単組として、保険料引き上げと独自健保組織のメリット、経営の実状を明確にして議論が必要。

労連が用意する説明チラシ(別紙)を活用し、周知を図る。

対応方針を確認した。

14:05~14:15 休憩

2. 労使課題 14:15~53分

① 経営状況について 14:15~13分

② 2017年度年間日程(正月1/4~6の3日間配送)について 14:28~20分

正式に提案拒否とした場合の具体的影響等について質疑があり、それを踏まえて今後のすすめ方を確認した。

③ 秋闘に向けて 14:48~1分

- ・ 次回中執で要求論議に向けた組み立てを提案する予定。
- ・ 最賃引き上昇との関係で、秋闘でも時給引き上げは一つの課題。

④ 店舗再雇用パート問題について 14:49~1分

⑤ スーパーチューズデイについて 14:50~18分

職場で出されている声を出し合った。

理事会窓口との交渉状況について共有した。

3. 組織拡大 15:08~2分

① 生協関連・一般労組の現状、大会について
報告事項で報告。

② 組織拡大の具体化、進捗について
店舗での懇談会設定を進めてほしい。

日程を空欄にしたチラシを書記局で作製し店舗に配布することを確認した。

4. 諸闘争、その他 15:10~16分

① 平和行進、原水爆禁止世界大会への参加

平和行進、お疲れ様でした。若干旗は途切れましたが…(まとめ別紙)

世界大会、広島へは8名参加予定です。長崎はゼロです。

② 木村紀夫さん講演会(別紙)

③ 一斉積立引き出しの申し入れ

二件の申し入れ。

一件却下、一件承認ということを確認した。

④ 中執連絡用のメールアドレスの登録を

IV. 次回日程 第2回中央執行委員会 8月26日(土)9:30~ 於:藤田本部